

HOTEL RESTAURANT

週刊 ホテルレストラン

2019 7/26 ¥1600

特集 宴会トレンド



特別企画「ホテル三日月グループ」
ベトナム・ダナンに日系企業最大の大型投資

特別企画「ANAクラウンプラザホテル
グランコート名古屋」20周年 賞味会

TOP INTERVIEW
京都悠洛ホテル
Mギャラリー
総支配人 田中一徳 氏

cover ホテル三日月グループ 代表 小高芳宗氏

ベトナム・ダナンに日系企業最大の大型投資 情熱と経済合理性をもって 100年企業を目指す

関東を代表するリゾート企業 ホテル三日月グループ（本社：千葉県勝浦市）は、経済成長が目覚ましいベトナムの注目エリア・ダナンに、大型リゾートコンプレックス（ホテル 294 室・アジア最大級の日帰りスパドーム）を 2020 年に順次開業する。現在、同グループは千葉県内の外房に「勝浦スパホテル三日月」「鴨川スパホテル三日月」、内房の木更津に「龍宮城スパホテル三日月」、栃木県日光市に「きぬ川スパホテル三日月」とともに、ベトナム国ダナン市のヴィラを含む 5 ホテル 1113 室を所有運営し、国内 9 社・海外 1 社のグループ連結年商は 200 億円。グループ初の海外進出を弾みに 100 年企業を目指すグループ代表の小高芳宗氏に展望を伺った。

聞き手 本誌 松沢 良治 文 福嶋 美香 レイアウト flippers(フリッパーズ)

プロフィール

ホテル三日月グループ代表取締役。2015 年現職に就任。17 年 5 月海外展開調査開始。17 年 12 月第 160 回旅館大学セミナー講師（参加者 150 名）。18 年 7 月ベトナム国ダナン市スアンティエウ観光投資株代表就任（M & A 株式 66% 取得）。同年 7 月ダナン市主催ダナン市投資セミナー講師（千葉県初開催参加者 250 名）、19 年 1 月ダナン市土地オークションで日系企業初の土地リース契約落札。同年 3 月ジェトロ海外展開プラットフォームセミナー講師（参加者 160 名）。同年 4 月スアンティエウ観光投資株（M & A 株式 100% 取得）、外国子会社「ODK MIKAZUKI VIETNAM Co.,Ltd.」に商号変更。同年 6 月ダナン市投資懇談会講師（参加者 50 名）。



ホテル三日月グループ 代表
小高 芳宗 氏

海外プロジェクトに初挑戦 未来に向けた飛躍を図る

ベトナム進出のきっかけとは。

2017 年 7 月にホテル三日月グループの創業者である会長の小高芳宗が他界しました。その少し前の 3 月、社員旅行でベトナムのホーチミンに赴いたときに夕食の席で会長がふいに「ここで商売をしよう」と言い出したんです。その表情は本気でした。

ちょうど会社として将来の在り方を模索しているところでした。日本国内の建築費や、人件費、原材料費が高騰し経費がかさむ一方、人口減少による市場縮小で売り上げが頭打ちになることは目に見えていて、成長戦略を立てるにも心細い状況でした。そうした中、会長はベトナムの現状と、創業時の日本の高度経済成長期を重ねたのでしょうか。ベトナム人の気質が日本人に比較

的似ていることや、海外にグループホテルがあれば国際的な人材交流に期待が持てるこども鑑みた、30 年先を見据えた一言だったと思います。

われわれにとって会長の言うことは絶対です。ではどうするか。それまで海外進出の経験など一度もなく五里霧中でしたが、とにかくベトナム進出のために、法務・会計・会社法全般からマーケット、ベトナムのことならなんでもと、猛勉強を始め、2カ月の間に徹底的に土地と価格をもハノイ、ダナン、ホーチミン計 30 力所以上洗い出しました。言葉にならない苦労でした。

会長には 2 回、候補地に赴いていただきました。車いすの会長を男 4 人で担ぎ上げ、手足は血まめだらけ、全身汗まみれでビーチを歩いたりもしました。2 回目の訪問の際、車から降りてくる会長を地主さんがいきなり抱擁するという運命的な出来事があり、その瞬間、互いの意思は固まりました。翌月

には 3 回目の訪問をし、「どうしたら互いの条件を許容し M&A ができるか」という具体的な話と、建設イメージの図面会議をして帰国し、わずか 2 週間たたずくに会長が他界。享年 87 歳。命日は 2017 年 7 月 10 日。前日は 5 時間以上も設計事務所と会議をしていたにもかかわらず突然の別れでした。

国家肝入りのプロジェクト。

このとき、冷静（経済合理性）と情熱（勇気ある経営判断）のバランスがとれたときに初めてプロジェクトは成功するのだと強く実感しました。弔い合戦になりそうな気持ちを抑え、経済合理性の追求を始め、企業買収を確実にするための法律や優遇税制を勉強し、いかにして金融機関様にご理解をいただかうかの検討。そして、ベトナムでは建設コストや人件費が抑えられる上、法人税は 20% と安く、日本への配当金に源泉税が



2018年7月千葉県初開催のダナン市主催、ダナン投資セミナーの前夜祭での集合写真

かからず、日本での課税割合が低くなる税制も多く学びました。

本プロジェクトは2018年4月にダナンのパートナー企業のSPA（株式譲渡契約）を皮切りに、同年7月には66%の株式を取得することで、グループ企業10社目が誕生しました。その後ERC（企業登録証明書）発行を受け、商工中金のサポートにより、ホテル三日月グループへの総額90億円のシンジケートローンが組成されました。本シンジケートローンは、商工中金がアレンジャーを務め、千葉銀行、三井住友銀行、みずほ銀行、京葉銀行、千葉興業銀行、銚子信用金庫



創業者の故・小高芳男氏を囲んで

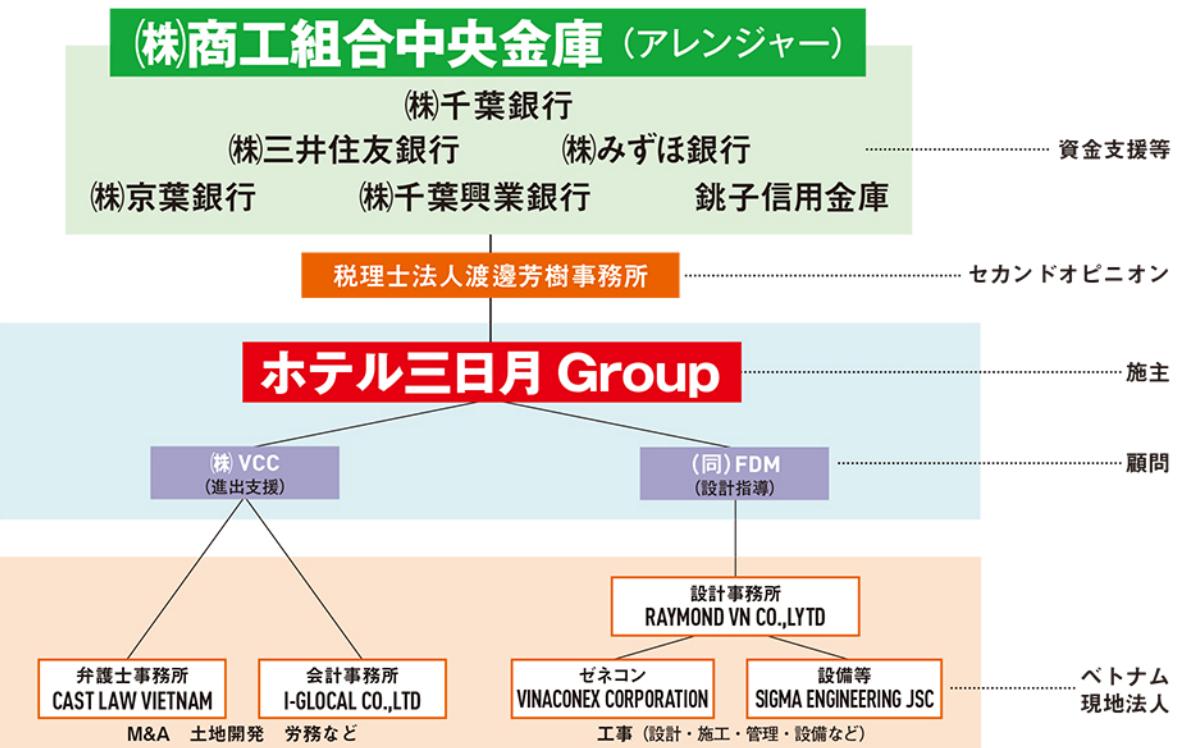
初めてだとされました。

私もカウンターパートに対して「日本人に信用信頼を説くベトナム人は初めてだ」と思いました。

その後、一般的には4～5年かかるとされるうえに、日系企業のダナン市過去最大の投資案件を、ほぼ2年で着工までこぎつけたのは、間違いなく常識外れな話です。こうしたスピード感は中小企業にしかできない最大の強みであり、会長の仕事ぶりから身をもって学んだこともあります。

会長は1961年に観光地でも何でもない千葉県の勝浦市で、10部屋の宿を創業。

プロジェクト関係図



本事業は独立法人日本貿易振興機構（ジェトロ）の「新輸出大国コンソーシアム事業」に登録されている（2017年3月）



ベトナム首相が参加した「2017ダナン投資フォーラム」。1000名を超える投資家の中で投資研究許可書を受け取った



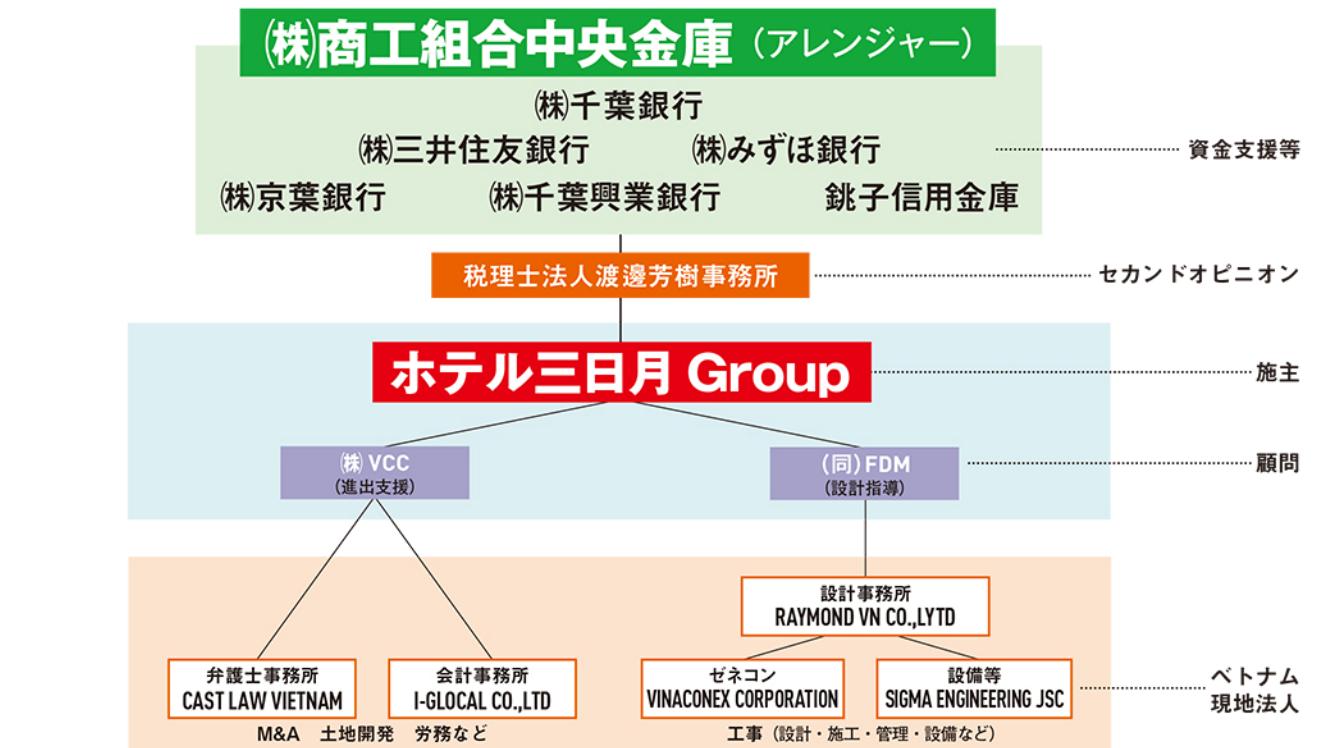
2018年4月他国での契約調整では何度も意見をぶつけ合い、ようやくSPA（株式譲渡契約書）締結。兄弟の契りを交わし、互いのクロージング条件達成を約束した

が参加しており、民間金融機関などの協調によりその組成が実現したものです。

本件は商工中金が取りまとめる海外投資にかかるシングルローンとしては過去最大級の組成額となります。すでに建設許可を得て、ベトナム大手ゼネコンとの契約も終了し、本格始動となります。

毎月ベトナムに赴き、交渉を重ねながらさまざまな問題をクリアしつつカウンターパートと、「ようやく兄弟になれたね」と言い合えたのが、18年4月に株式譲渡契約を締結したときです。このとき、首から実印をぶらさげて「やるかやらないか」の交渉をする日本人は

プロジェクト関係図



本事業は独立法人日本貿易振興機構（ジェトロ）の「新輸出大国コンソーシアム事業」に登録されている（2017年3月）

備され、国際空港は車で15分のところにあり、日本との直行便も就航しています。三つの世界遺産へのアクセスも良好で、今後開発が期待される注目のエリアです。ダナン湾エリア初の5スターホテルになるわれわれは、【日本文化の発信基地】を創ると提唱し、ダナン市と、外国人投資家、合計600名が見守る中でスピーチの後に、IRC（投資登録証明書）が授与されました。

一方、私は2代目として、周囲から測られている最中とらえています。成功体験を重ねると、人は必ずこちらに振り向いてくれるはずです。迷いがあっても、「大丈夫」と言ってエールを送り背中を押してくれる、一緒に仕事をしてくれる人たちに本当に助けられています。こんな日本企業の大風呂敷で、中小企業には無謀な海外進出も、私と、プロジェクトを信じてついてきてくれた人たちの存在があってこそ実現できたものです。

ベトナムとともに歩む 地元密着型リゾート

ベトナム経済をどうとらえていますか。

ベトナムでは一人当たりのGDPが毎年6～8%成長し、消費者物価指数CPIは2～3%程度の伸びです。収入に対して物価の上昇が緩やかなので、豊かさを実感しやすい経済構成と言えます。人口9370万人の平均年齢はほぼ30歳と若く、生産性と人口を考慮すればやがてASEANをけん引する経済大国になる可能性があります。

ベトナム人の消費力は数値以上に高い感じます。これはGDPという指標が、金融機関や行政の把握しうる範囲内しか換算されていないこともあるでしょう。ベトナム国全体での一人当たりGDPは2018年で2600\$程度ですが、スマホとバイクは驚異的な普及率であり、家電や車は所有率が低かったり、ねじれている感じがあります。

例えば、ダナン空港から車で1時間くらいの山間に「タンタイ山ホットスプリングスパ」という施設があります。入館料は日本円にして約1500円、バス代750円をあわせて約2250円。その年間利用者数は50万人に上るそうです。

そこで、空港から車で15分のところに三

日月の大きなドーム型スパ施設があるとなれば、お客様は必ずや足を運んでくださるはずです。将来的に成長が見込まれる魅力的な市場が広がっており、日本の一般的な概念を飛び越えたところでビジネスが動くことから、高い利益率を期待しています。

「宝船大作戦」というストーリーも展開へ。

ベトナムで事業を成功させるには「政治力に頼りすぎると、その力が落ちたときに淘汰されてしまう可能性があるので、政治家や政権を問わず認めてももらえるプロジェクトであり続けることが重要」と助言されました。そうした意味で、われわれは出会いに恵まれたと思います。「よい出会いはお金では買えない価値である」と会長もよく言っておりました。有形無形の資産を見極め、磨き、共に輝くことが大切ということです。



2019年4月、念願の着工式を迎える。行政機関など600名の参加者が集まり、ベトナムメディアから50社以上の取材と掲載を受け一躍有名プロジェクトになった

三日月ダナンプロジェクトは、日本企業による観光投資最大金額で、ダナン市においては業種にかかわらず過去最大投資金額のプロジェクトであるエビデンスもございます。ここまで大きな風呂敷を広げたからには、「ベトナム政府が無視できない、外資系企業も大企業も恐れる、ASEAN諸国大注目の、日本文化の発信基地【宝船大作戦】」というストーリーも展開したいと考えます。これは、テナント誘致で協力する企業や合弁企業を設立する企業、ストーリーの提供や業務アライアンスを組む企業、日本をPRする商品販売を協力してくれる企業などのビジネスマッチングも可能と考えているということです。

日本旅館が持つ、日本の「食」「伝統」「嗜好品」「信仰心」「医療・教育」「ファンション」などなど、多くの魅力と、多くの文化を発信するには、日系企業の力を結集させる必要があります。オールジャパンで取り組む必要があります。

この話をして目を輝かせて聞いてくれない人はいません。いい商品を売るときは気持ちが良いもので、お話をしても人に夢を売りに行く気持ちです。中小企業のホテル三日月が大企業でもやらない常識外の過去最大の投資検討開始をして2年。最短距離で着工までこぎつけている。こんな船があるならすぐにでも乗りたいという方も多い、反応がすごくいい。苦労して作り

上げた船が大きくなればなるほど、強くなればなるほど、ダナン政府のみならずベトナム政府も無視できない日本文化の発信基地をつくっていかなければいけないと思います。

100年企業を目指し 人と人との心をつなぐ

有形無形の日本文化も輸出したい。

海外に進出する以上は有形無形の日本文化を輸出していきたいと考えます。すでに日本でベトナム人スタッフを50人以上採用しています。正社員で、日本の短期大学や大学、専門学校を卒業している人材です。彼らが技能実習生の指揮官となり、その1割でもベトナムに帰国して働きたいという人材が育てばベトナムでリーダークラスとなり、そこでまた部下たちに日本流の心配りやおもてなしの感覚を伝えていくことができるはずです。さらに、日本国内でもリーダーになりうる人材も出てくる可能性もあります。

ダナンでは380人程のスタッフが従事する予定です。企業買収を経てもそれまで勤めていた人材を解雇はせずに継続採用しました。これによる金銭の出費は損ではありません。人が育てば損ではなく、マイナスをプラスにかえてくれる財産であり、ベトナムの2スターホテルから、日本式5スターホテルへ、共に成長していくシンデレラス



商工中金（アレンジャー）メンバーの現地調査同行の様子

トリーを創りたいのです。企業は最終的には人の力が最も大切です。

ダナン三日月に入社する気のあるベトナム人を集めて、先行教育を行ない、試験を合格すれば入社できるというスキームを提案してくれている企業もあるくらいです。

日本での新しい動きを教えてください。

千葉県初・関東最大級の「ウォーターアイランド On the sea」（全長210m）を、勝浦ホテル三日月がある勝浦中央海水浴場に7月にオープンします。約25種類のアトラクションが親子で楽しめる最新のサマースポットになります。砂浜で楽しめる「ウォーターアイランド On the beach」もあり、こちらは勝浦と鴨川の2カ所にオープンしました。

地元の海水浴客が減少傾向にあるからこそ、これをブレイクスルーポイントととらえ、地域の観光協会とともに推進するDMO（観光地経営）の事業の一つとして、集客の起爆剤となれるよう盛り上げています。

きっかけはダナン出張中に近くの島のビーチを視察したとき、小さなウォーターアスレチックが浮かんでいるのを見て「面白い、うちのホテルでもどうか」という印象を受けました。帰国後、たまたまある会社の方から似たものを「ダナンでどうか」と打診され、カタログを手に一晩考えたのですが、これはむしろ日本でやったほうがいいと思い至りました。まだ日本では珍しく、千葉県では初挑戦になるからです。

では、実際にどこに許可を得ればいいか調べると、海上保安庁と地域の漁

業組合と千葉県と、勝浦市でした。実施ができそだと思って早速動き始めました。

ご紹介いただいたのが韓国メーカーでしたので韓国に出向きました。文化も言葉も違う人たちとの交渉を成功裏にまとめるためには、最終的には「骨まで抱きしめる」覚悟を持つことが重要です。何かあれば自分たちが一番強くなり、お互いのさまざまな違いをも抱きしめて相互の信用を確実なものにするのです。ここでも、ベトナムでの経験が生かされました。

このほか、木更津の龍宮城では動物とふれあえる「アニマルロビー」が7月に登場します。全面リニューアルして間もない鴨川随一の展望露天風呂「一望千里の湯」などとあわせて、グループ全体で話題づくりに力を入れていきます。その話題が、中期的なブレイクスルーポイントの道標になり、われわれを長期的な成長に導いてくれるような成長の節目を、未来創造していきます。

今後の展望をお聞かせください。

2年後に創業60周年を迎えます。そして、その先を見据えた「100年続く企業」が理念です。その投資が理念に見合った投資であるのかどうか、日々常に考えます。それこそが自分を突き動かす羅針盤にはかなりません。三日



日本企業の代表としてスピーチした後、ダナン市 フィンドク トウ市長より約120億円のIRC（投資登録証明書）を受け取る

出会え、この舞台で仕事ができる」と会長はよく話していました。

さらに、「観光地は創るものである」とも会長は考えていました。勝浦という関東で最も人口が少ない市に観光地を創り出すことができた会長ゆえの言葉です。何もないところから自分たちで創りあげていくという理念を、ダナンでも実践します。

創業者がこれまで築き上げてきたものを継承し、それを新しく変えていくしながらも、何もないところから自分たちで創りあげていくという理念を、ダナンでも実践します。

創業者がこれまで築き上げてきたも

のを継承し、それを新しく変えていきながらも、何もないところから自分たちで創りあげていくという理念を、ダ

ナンでも実践します。

成長の基礎となるのは、会長が長年にわたり積み上げてきた三日月グループの看板であり信用力です。社訓の和は「企業を通じてこそいろいろな人に



◆プロジェクトが破談になってしまう危機（ターニングポイント）

カウンターパートとSPA締結2カ月後に、第一回目の買収代金（約13億円）を送金するタイミングになったときに、クロージング条件を1カ所満たしていないという事件と直面しました。関係者の中にはブレーキ役として、支払いを止めるように提言された方がいました。むしろ、その満たしていない条件を残したまま支払いを行なう企業を過去に見たことがないとまで言われました。しかし、裏話ですが、対象会社の土地がベトナム金融機関に担保設定されており、リスケを繰り返しておりましたので、ここで支払いを止めたら、いよいよ土地をベトナムの銀行に取られてしまうというプロジェクトの危機でした。この場面はしげれました。13億円もの大金をリスク承知で支払うか、プロジェクトを断念するか・・・。究極の二択は体力的にも、精神的にも、こんなに疲弊したことはないというくらい2週間ほど悩みました。これは体験しなければ理解できないと思いますが、私の出した答えは、通常の進出形態では御法度と理解しながらも、「支払う」という選択でした。むろん、勝算がありましたし私は若いのが武器ですから「失敗したら残り50年の人生を無給で働く覚悟はあり、念書でも何でも書きますよ。それだけ自信があります。大切なのはフィジビリティスタディを重ねてきた自分たちを信じること。しょせん、私をここで止める助言をする人はプロジェクトを終わらせる責任は取ってくれない。だったら、失敗したときの責任は私が取れば良い」5対5の決断だった「ギャンブル」と言われますが、7対3だったりGOするのが「海外ビジネス」だろう、と結論づけました。10対0なんてビジネスの世界ではあり得ませんし、そういう人は「石橋をたたいて壊してしまう人」で、経営者には向いてないと思います。場面によって【最悪のことを想定内にして、最高のシナリオを開拓する】というかじ取りが迫られましたので、シングルローンが実行される日までは「もし日本で富士山が噴火したら・・・」、なんて場面まで想定してプロジェクトを【つなげる】ことができました。ネガティブなアドバイスをしてくれた人にも感謝をしておりますし、ポジティブなアドバイスをしてくれた人には「信じてくれてありがとう」と、あの場面を思い出すたびに周囲の「人」に恵まれたなあって感謝しています。一人は無力ですから。

5ツ星ホテルを核に複合施設 —アジア最大級の全天候型「温泉&アクアドーム」

総額120億円の投資



開発基本コンセプトと概要

オークションで日系企業初の土地リース契約を落札した約5haと、M&Aで取得した土地の合計総開発面積約13haに広がる本格的なジャパニーズスパリゾートコンプレックス。日本貿易振興機構ジェトロの「新輸出大国コンソーシアム事業」にも登録されている。設計はレーモンド建築設計事務所の現地法人レーモンド・ベトナム社、施工はベトナム大手ゼネコンのヴィナコネックス、設備関連工事はシグマエンジニアリングと契約している。

大きく4ゾーンで構成。ベトナム初・アジア最大級の全天候型「温泉&アクアドームZONE」、エリア初の5ツ星ホテル「ホテル&レストランZONE」、ラグジュアリーな和風ヴィラとアトラクションプールがある「ガーデンラグーンZONE」、ビーチに面した飲食・パンケット施設が入る「オーシャンZONE」があり、これらを段階的にオープンしていく。

まず、ゼロ期工事として「ガーデンラグーンZONE」に位置する既存施設のヴィラ12棟48室と、「オーシャンZONE」のレストランおよびコンベンションホールを日本風に改修し、19年10月にオープンする。今まででは地元宴会と宿泊で年間約8000万円を売り上げていたという。

1期目として20年6月に「温泉&アクアドームZONE」をオープンする。アクアドームは1haの広さを誇る、アジア最大級の全天候型日帰り温泉テーマパーク。規模は「スパリゾートハワイアンズ」の1.5倍、「東京スマーランド」の2倍の大きさ。中には、水着で楽しめる、日本庭園風露天風呂、はだか湯、造波プール、アジア最長の特殊ウォータースライダー、ゲームセンター、日本式カプセルホテル、日本式エステマッサージ、日越折衷フードコートなどの主力商品を中心に、【祭】を体感できるような施設になっている。

2期目に「ホテル&レストランZONE」をオープン

2期目として21年4月に「ホテル&レストランZONE」をオープンする。中核施設として20階建て294室全室オーシャンビュー露天風呂付き、5ツ星ホテルを開業する。地上90mの最上階にはインフィニティープール＆露天風呂も設置。隣接地に約200室を増室する計画もあり、最終的には500室以上の規模となり、ホテル三日月グループ全体で1600室以上を目指す。

ホテルとレストランは日本を感じてもらえるジャパニーズテイストで、テーマは安土桃山時代の豪華絢爛な時代を彷彿とさせる【婆娑羅】にする。宿泊客向けバイキングレストランや和食会場、フードコートにはテナントが7店舗に入る予定だ。

5スターホテルが約20軒ひしめくダナンで、世界の一流ホテルたちは一線を画す必要が出てくるので日本を押し出している。日本のホテルが、ベトナム国で日本を発信するという、商品コンセプトの違いを参入障壁にして、後から市場の論理で類似商品を作られて淘汰されることができないような独創性を持った商品に磨きをかけたいとしている。



13haの敷地は大きく四つのゾーンで構成 ①全天候型「温泉&アクアドームZONE」②5ツ星ホテル「ホテル&レストランZONE」③「ガーデンラグーンZONE」④「オーシャンZONE」



日本文化の発信基地として、多くの人に愛される「親子三世代」が日本文化を楽しめるリゾートを目指している



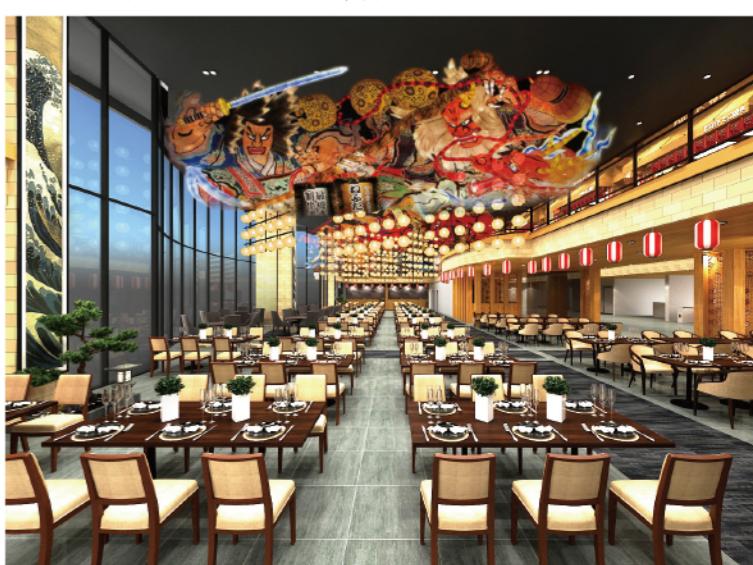
地上90mにある最上階のインフィニティーブル&露天風呂(2期目)



レストランも和風文化を取り入れて

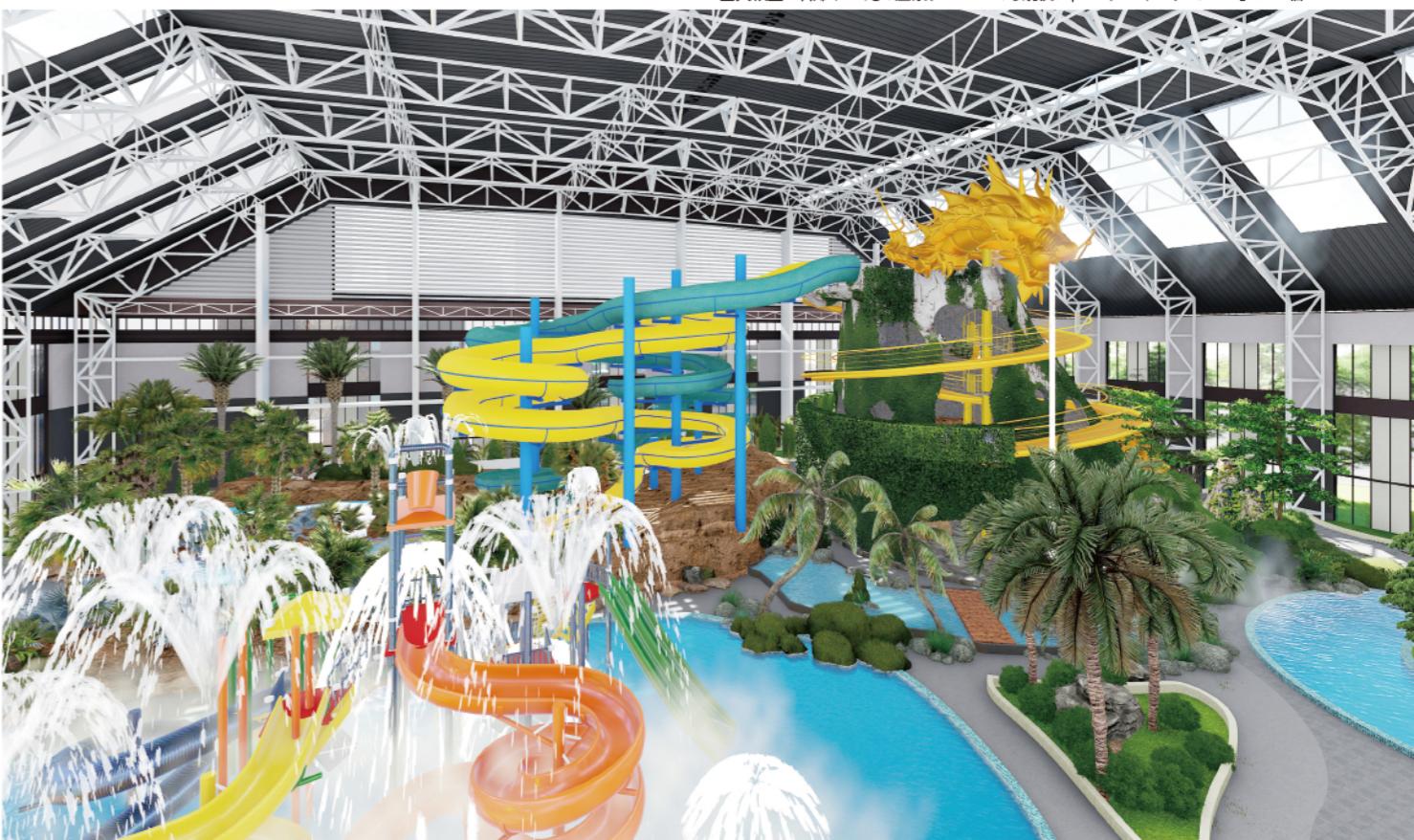


ホテルエントランス



コンベンションは約1000m²あり立食1000人を収容可能

全天候型の日帰りができる温泉テーマパーク。規模は「スパリゾートハワイアンズ」の1.5倍



特別企画「ホテル三日月グループ」②



ダナン市街地の俯瞰図。ダナン湾のほぼ中央に「ダナン三日月リゾーツ&スパ」があり、すぐ近くに新興住宅地やハイテク工業団地などがある。ダナン国際空港から車で15分という好立地



日本と同様、地元の親子三世代をターゲットとしている。ほかの外資系とは異なり、ラグジュアリーかつ地元ベトナムの地に根を張り、地元に愛されるジャパニーズリゾートが目標だ。「地域に愛されるホテル」というのは会長のこだわりでもあった。開業当初はインバウンドと半々だろうと予想しているが、いずれ地元の方の利用が大きくなつてほしいと念願している。

ホテルではベトナム人が親子で利用しやすいよう、最も小さな部屋でも69.5m²となっている。家族や仲間との絆を大切にするベトナム人が、

4人以上で泊まれる部屋を132室用意している。ADR(客室平均単価)は近隣マーケットとのバランスを見ながら、宿泊とSPA・プール使用料を含めて他社平均の1万8500円程度を考えており、SPAとプールが付帯しているホテルで他社との割安感を感じられるような価格設定だ。

また、ベトナムの経済が成長するにつれて4名以上で泊まれる部屋の割安感が顕著になり、需要が増倍すること狙っている。客室稼働率7割以上を目指し、施設全体の初年度の売り上げは30億円を目標にしている。

のこ 人を遺し、夢を遺した創業者 故・小高芳男 氏

創業者亡き後の弊社の羅針盤は「100年企業」を目指すことです。カリスマ的存在の創業者が生きていたときは、その強いリーダーシップに身を任せていれば良かったのですが、これからの時代は、創業者の理念を継承しながら環境変化に対応できるようにしてお客様の多様なニーズに応えていかなければなりません。

カリスマを失ったから悲しむのではなく、創業者はビジネスモデルと夢を遺してくれたから、今のビジネスモデルを磨きながら、新たな夢を追いかける挑戦企業の楽しみを感じられる。

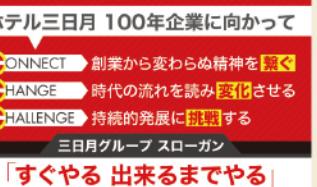
国内事業(ディフェンス)においても、海外事業(オフェンス)においても、ゼロを1にする産みの苦しみを社員と分かち合い、遺された夢の実現で会社を奮い立たせることができれば、創業者が遺した夢は何よりもかけがえのないものになる。

関東で最も小さな市(勝浦市)に本社を置くわれわれが、日系企業最大のプロジェクトに挑戦している。地方の中小企業が日本代表のつもりで遮二無二に突き進み、国内外のホテル三日月社員が一丸となって世界の名だたるリゾートホテルに挑戦していると考へると、自然に力が湧きます。われわれ三日月の社員ならきっとできること信じていますし、完成したら恒例の海外研修旅行に社員皆さんと行きたいです。誰もやったことがないことがありますが、いつか誰かがやるなら三日月がやってやろうってここまで来ましたから。

ホテル三日月グループには現在、日本採用のベトナム人スタッフが50名を超えます。さらに、ベトナムに誕生した新会社に既存ベトナム人社員が77名おり、全部で100名を超える外国人スタッフが三日月ファミリーの仲間入りをしました。世界経済はもちろん



勝浦市と鶴川市の名誉市民に推戴



ん、日本経済が目まぐるしく変化し、多様化しています。企業間の競争激化と淘汰が繰り返され、日本企業の寿命が30年と言われる時代に、われわれは創業者から受け継いだ精神を胸に、総力をあげて100年企業を目指す使命をスタートさせます。

日本は世界一100年企業が多い国です。第二位の国に10倍以上の差をつけています。老舗と呼ばれる企業は、伝統を継承しながら環境変化に適応し、革新的なことに取り組みつつ持続的な発展を遂げています。日本企業は価値を人と人を通して伝達する能力、気持ちを伝えノウハウを知的財産として伝承していくのが世界一だという誇りを感じます。当社も創業者の経営理念である「観光地創り」「地域一番店創り」を引き継ぎ、これからも冷静(経済合理性)と情熱(勇気ある経営判断)のバランスをもって新たな挑戦を続けていけば、創業者はわれわれの中で生き続けてくれるという実感です。



もつ 和を以て貴しとなす(あとがき)

まだ成功したわけではありませんが、着工したことで見える景色も違いますし、見られる三日月の企業価値も上がったかとは思います。商売繁盛し、ベトナムの地で愛され地域貢献度が高いホテルになることが中期的な目標。えらそうなことをたくさん言ってしまいましたが、着工するまでの過程では、失敗や、怖い経験もたくさんしました。異国での商売が難儀で、あきらめそうになった場面もありました。しかしながら「人の役に立つ」ために、自らの自己の利益のみならず【和を以て貴しとなす】つもりで働きます。ベトナムと日本のために、日本の先人たちのおかげで今は日本人の価値が非常に高く受け入れられていることを感謝しながら、日本人として真面目に熱く精進してまいりたいと思います。



ホテル三日月グループ幹部 写真前列中央 ホテル三日月グループ代表 小高芳宗/前列右 専務 小高秀元/後方左より 海外事業部ダナン三日月プロジェクト ゼネラルマネージャー 高瀬昭彦/海外事業部通訳 ゴヴァン ヒエブ/龍宮城スパホテル三日月 総務部長 橘川雅統/龍宮城スパホテル三日月 副支配人 中村一英/龍宮城スパホテル三日月 取締役総支配人 藤繩光弘/龍宮城スパホテル三日月 営業部課長 立野浩(敬称略)

観光とは、創るもの 自ら観光資源を創造し続けるスパホテル三日月

1961年、勝浦漁港に近代的な観光ホテルが誕生。観光資源を自らの手で創造するチャレンジがここから始まった。その後鴨川、木更津、きぬ川へと出店。さらに2016年には木更津にある「龍宮城スパホテル三日月」(現在の「龍宮亭」)の隣にハイグレードな「富士見亭」をオープンするなど地域経渋に大きな貢献を果たしている。国内4施設を紹介する。年間利用客数は130万人にもおよぶ。

自ら観光地を創る

勝浦スパホテル三日月



千葉県初・関東最大級の「ウォーターアイランド On the sea」(全長210m)を2019年7月にオープン



地上30m、雄大な景色を望む「スカイスパ」



2019年4月リニューアル バイキング会場

DATA

名称=勝浦スパホテル三日月
運営企業=株式会社勝浦ホテル三日月
所在地=千葉県勝浦市墨名820(勝浦海岸)
客室数=169室
開業=1961年
構造=鉄筋鉄骨13階建て

古くは大正時代。日蓮大聖人ゆかりの地に出店した、誕生寺門前茶屋「三日月亭」が起源。
1983年現在の所在地に千葉県随一の宿場町に、千葉県最大級の大型リゾートホテルを設立。

鴨川スパホテル三日月



天然木の温もりと天然温泉の温もり「誕生の湯」



全天候型スパ「バンブーマウンテン」



2018年7月オープン 外房随一、地上35m露天風呂「一望千里の湯」

DATA

名称=鴨川スパホテル三日月
運営企業=株式会社小湊ホテル三日月
所在地=千葉県鴨川市内浦2781(小湊海岸)
客室数=171室
開業=1961年
構造=鉄筋鉄骨10階建て

誰もまねできないリゾート

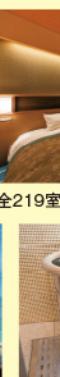
龍宮城スパホテル三日月



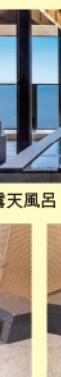
【富士見亭】2層吹き抜け1,200m²の開放感あふれるロビー



【富士見亭】5種の段々露天風呂



時価3億8000万円
世界初「純プラチナ風呂」
※富士見亭宿泊のお客さまのみ



時価2億9000万円
元祖「黄金風呂」
※ホテル三日月グループ全店で楽しめる



5階建て(スパ)

歴史ある鬼怒川温泉に新しい風 きぬ川スパホテル三日月



左【龍宮亭】オーシャンスパ
右【龍宮亭】富士の湯※通常は裸風呂

歴史ある鬼怒川温泉に新しい風 きぬ川スパホテル三日月



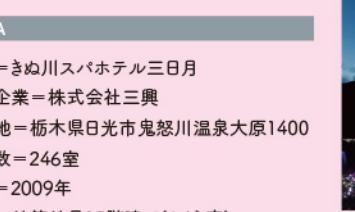
ロケーションにもこだわったライブキッチン「デリシャス」



全天候型スパ 1周100m「流水浴プール」



多彩で美しい湯空間「渓谷の湯」



世界初 和楽器で奏でるオリジナル音楽噴水ショー。
ホテル三日月グループ全店で楽しめる

